

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公表番号】特表2015-524713(P2015-524713A)

【公表日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2015-054

【出願番号】特願2015-526757(P2015-526757)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/24 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/24

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月10日(2016.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プライドルデバイスであって、前記プライドルデバイスは、
回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、
送達部材と、前記送達部材の遠位部分に対して移動可能である送達磁石とを有する送達
部分と
を備える、プライドルデバイス。

【請求項2】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた可撓性
の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記
送達管の遠位端に対して移動可能である、請求項1に記載のプライドルデバイス。

【請求項3】

前記送達磁石は、接着剤、結び目、アイレット、および、筐体のうちの少なくとも1つに
よって前記細長い部材に取り付けられる、請求項2に記載のプライドルデバイス。

【請求項4】

前記細長い部材は、パウチを備え、前記送達磁石は、前記パウチ内に受け取られる、請求
項2に記載のプライドルデバイス。

【請求項5】

前記送達管の壁は、実質的に、前記送達管の全長に沿って分離され、その結果として、前
記分離された送達管の壁は、前記細長い部材が前記送達管内から除去されることを可能に
する、請求項2に記載のプライドルデバイス。

【請求項6】

前記分離された送達管の壁は、重複壁部分を備える、請求項5に記載のプライドルデバイ
ス。

【請求項7】

前記送達管の壁は、穿孔され、前記穿孔の除去は、前記送達管の壁を分離する、請求項2
に記載のプライドルデバイス。

【請求項8】

前記送達磁石は、前記送達管の遠位端に対して、前記送達管の長手方向軸の周りで回転可
能である、請求項2に記載のプライドルデバイス。

【請求項 9】

前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、請求項 2 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 10】

前記プライドルデバイスは、前記送達管が個人の鼻の中に挿入されるときに前記送達管の中に受け取られた前記細長い部材における張力を維持するように構成される送達停止部をさらに備える、請求項 2 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 11】

前記送達管は、前記個人の鼻咽頭に送達するための少なくとも 1 つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置される、請求項 2 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 12】

前記送達磁石は、立方体、長方形、円筒、ドーム、カプセル、タブレット、および、球体の形状のうちの少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 13】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、磁性がある可撓性の細長い部材であり、前記細長い部材は、前記送達管の中に受け取られ、前記細長い部材の遠位端は、前記送達管の外側に延び、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能である、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 14】

前記磁性がある細長い部材は、磁性纖維を有する織物構造である、請求項 1 3 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 15】

前記送達部材は、扁平な遠位端と、前記扁平な遠位端における開口部とを有するへら形状である、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 16】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位端に固定される、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 17】

前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の外側に露出させられ、前記回収磁石の 1 つの極は、前記回収部材の中に受け取られる、請求項 1 6 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 18】

前記回収部分は、扁平な遠位部分を有するへら形状の回収部材を備え、前記回収磁石は、前記扁平な遠位部分上に配置される、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 19】

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 20】

前記回収磁石は、前記回収管の遠位端に対して、前記回収管の長手方向軸の周りで回転可能である、請求項 1 9 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 21】

前記回収磁石の両極は、前記回収管の外側に露出させられる、請求項 1 9 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 22】

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、請求項 1 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 23】

前記プライドルデバイスは、U 字形状であり、前記 U 字の第 1 の側を形成する前記回収部分と、前記 U 字の第 2 の側を形成する前記送達部分とを伴う、請求項 2 2 に記載のプライドルデバイス。

【請求項 2 4】

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた第1の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能であり、前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第2の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、請求項23に記載のプライドルデバイス。

【請求項 2 5】

前記回収部分および前記送達部分は、ハンドルによって一緒に除去可能に接続され、前記ハンドルは、前記回収部分および前記送達部分を受け取るように構成されたチャネルを備える、請求項22に記載のプライドルデバイス。

【請求項 2 6】

プライドルデバイスであって、前記プライドルデバイスは、

送達部分であって、前記プライドルデバイスの前記送達部分は、個人の第1の鼻孔の中に挿入されるように構成されており、前記送達部分は、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを備え、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位部分に対して移動可能である、送達部分と、

回収部分であって、前記プライドルデバイスの前記回収部分は、前記個人の第2の鼻孔の中に挿入されるように構成されており、前記回収部分は、回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを備える、回収部分と

を備え、前記送達磁石と前記回収磁石とは、前記個人の鼻咽頭内で接続され、

前記細長い部材は、前記第2の鼻孔から前記回収部分の前記回収部材を除去することによって、鋤骨の周りで前記個人の前記第2の鼻孔から引き出されるように構成されており、

前記送達管は、前記個人の前記第1の鼻孔から除去されるように構成されている、プライドルデバイス。

【請求項 2 7】

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項 2 8】

前記送達部分および前記回収部分は、前記第1の鼻孔および前記第2の鼻孔の中に同時に挿入されるように構成されている、請求項27に記載のプライドルデバイス。

【請求項 2 9】

前記送達部分の前記送達管および前記回収部分の前記回収部材は、前記第1の鼻孔および前記第2の鼻孔から同時に除去されるように構成されている、請求項27に記載のプライドルデバイス。

【請求項 3 0】

前記送達管は、前記送達管が前記第1の鼻孔から除去されるときに前記細長い部材を覆つてスライドさせられるように構成されている、請求項29に記載のプライドルデバイス。

【請求項 3 1】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に固定されるように構成されている、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項 3 2】

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に対して移動可能である、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項 3 3】

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第2の可撓性の細長い部材に取り付けられるように構成されており、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の前記遠位部分に対して移動可能である、請求項3

2に記載のプライドルデバイス。

【請求項34】

前記細長い部材は、前記送達管から除去されるように構成されている、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項35】

前記送達管は、実質的にその全長に沿ってスリットを備え、前記細長い部材は、前記スリットを通して前記送達管から除去されるように構成されている、請求項34に記載のプライドルデバイス。

【請求項36】

前記可撓性の細長い部材は、前記送達磁石として作用する磁性部分を備える、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項37】

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の前記鼻咽頭に送達するための少なくとも1つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置されるように構成されており、前記鼻腔チューブは、前記個人の前記第1の鼻孔の中に挿入されるように構成されており、前記送達管は、前記鼻腔チューブから除去されるように構成されている、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項38】

前記送達管は、透明であり、前記細長い部材は、視覚インジケータを備え、前記送達磁石と前記回収磁石との間の接続は、前記送達管内の前記細長い部材の移動を監視することによって、判定されるように構成されている、請求項26に記載のプライドルデバイス。

【請求項39】

プライドルデバイスであって、前記プライドルデバイスは、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続され、前記送達磁石は、前記送達管の遠位部分に対して移動可能であり、前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、送達部分とを備える、プライドルデバイス。

【請求項40】

プライドルデバイスであって、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、送達部材と、前記送達部材の遠位部分に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達磁石は、多面体として成形される、送達部分とを備える、プライドルデバイス。

【請求項41】

前記送達磁石は、6面体として成形される、請求項40に記載のプライドルデバイス。

【請求項42】

鼻腔チューブであって、前記鼻腔チューブは、

管腔と、

第1のフランジ部分および第2のフランジ部分であって、前記第1のフランジ部分および前記第2のフランジ部分は、前記管腔の長手方向軸の周りで前記管腔を円周方向に包囲し、前記第1のフランジ部分と前記第2のフランジ部分との間にチャネルを形成する、第1のフランジ部分および第2のフランジ部分とを備える、鼻腔チューブ。

【請求項43】

前記第1のフランジ部分および第2のフランジ部分のうちの少なくとも1つは、前記管腔から前記フランジ部分の外縁まで半径方向の方向に延びる開口部を備える、請求項42に記載の鼻腔チューブ。

【請求項44】

前記鼻腔チューブは、弾性アームをさらに備え、前記弾性アームは、前記管腔から延び、前記チャネルの中に配置されたプライドルラインの最上部を覆って巻き付けられることが可能である、請求項42に記載の鼻腔チューブ。

【請求項45】

前記第1のフランジ部分および第2のフランジ部分は、前記チャネルの中に配置された前記プライドルラインの最上部を覆って巻き付けられたときに前記アームの一部分を定位置に保持する1つ以上のノッチを備える、請求項44に記載の鼻腔チューブ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

これらおよび追加の実施形態は、下記の発明を詳しい説明の過程において明白になる。本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目1)

プライドルデバイスであって、前記プライドルデバイスは、
回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、
送達部材と、前記送達部材の遠位部分に対して移動可能である送達磁石とを有する送達部分と
を備える、プライドルデバイス。

(項目2)

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位端に対して移動可能である、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目3)

前記送達磁石は、接着剤、結び目、アイレット、および、筐体のうちの少なくとも1つによって前記細長い部材に取り付けられる、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目4)

前記細長い部材は、パウチを備え、前記送達磁石は、前記パウチ内に受け取られる、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目5)

前記送達管の壁は、実質的に、前記送達管の全長に沿って分離され、その結果として、前記分離された送達管の壁は、前記細長い部材が前記送達管内から除去されることを可能にする、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目6)

前記分離された送達管の壁は、重複壁部分を備える、項目5に記載のプライドルデバイス。

(項目7)

前記送達管の壁は、穿孔され、前記穿孔の除去は、前記送達管の壁を分離する、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目8)

前記送達磁石は、前記送達管の遠位端に対して、前記送達管の長手方向軸の周りで回転可能である、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目9)

前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目10)

前記プライドルデバイスは、前記送達管が個人の鼻の中に挿入されるときに前記送達管の

中に受け取られた前記細長い部材における張力を維持するように構成される送達停止部をさらに備える、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目11)

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の鼻咽頭に送達するための少なくとも1つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置される、項目2に記載のプライドルデバイス。

(項目12)

前記送達磁石は、立方体、長方形、円筒、ドーム、カプセル、タブレット、および、球体の形状のうちの少なくとも1つである、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目13)

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、磁性がある可撓性の細長い部材であり、前記細長い部材は、前記送達管の中に受け取られ、前記細長い部材の遠位端は、前記送達管の外側に延び、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能である、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目14)

前記磁性がある細長い部材は、磁性纖維を有する織物構造である、項目13に記載のプライドルデバイス。

(項目15)

前記送達部材は、扁平な遠位端と、前記扁平な遠位端における開口部とを有するへら形状である、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目16)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位端に固定される、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目17)

前記回収磁石の1つの極は、前記回収部材の外側に露出させられ、前記回収磁石の1つの極は、前記回収部材の中に受け取られる、項目16に記載のプライドルデバイス。

(項目18)

前記回収部分は、扁平な遠位部分を有するへら形状の回収部材を備え、前記回収磁石は、前記扁平な遠位部分上に配置される、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目19)

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目20)

前記回収磁石は、前記回収管の遠位端に対して、前記回収管の長手方向軸の周りで回転可能である、項目19に記載のプライドルデバイス。

(項目21)

前記回収磁石の両極は、前記回収管の外側に露出させられる、項目19に記載のプライドルデバイス。

(項目22)

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、項目1に記載のプライドルデバイス。

(項目23)

前記プライドルデバイスは、U字形状であり、前記U字の第1の側を形成する前記回収部分と、前記U字の第2の側を形成する前記送達部分とを伴う、項目22に記載のプライドルデバイス。

(項目24)

前記送達部材は、送達管であり、前記送達磁石は、前記送達管の中に受け取られた第1の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の前記遠位部分に対して移動可能であり、前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第2の可撓性の細長い部材に取り付けら

れ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の遠位部分に対して移動可能である、項目23に記載のプライドルデバイス。

(項目25)

前記回収部分および前記送達部分は、ハンドルによって一緒に除去可能に接続され、前記ハンドルは、前記回収部分および前記送達部分を受け取るように構成されたチャネルを備える、項目22に記載のプライドルデバイス。

(項目26)

送達部分および回収部分を有するプライドルデバイスを使用して、個人にプライドルを留置する方法であって、前記方法は、

前記個人の第1の鼻孔において前記プライドルデバイスの前記送達部分を挿入するステップであって、前記送達部分は、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを備え、前記送達磁石は、前記送達管の外側に位置付けられ、前記送達管の遠位部分に対して移動可能である、ステップと、

前記個人の第2の鼻孔において前記プライドルデバイスの前記回収部分を挿入するステップであって、前記回収部分は、回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを備える、ステップと、

前記個人の鼻咽頭内で前記送達磁石と前記回収磁石とを接続するステップと、

前記第2の鼻孔から前記回収部分の前記回収部材を除去することによって、鋤骨の周りで前記個人の前記第2の鼻孔から前記細長い部材を引き出ステップと、

前記個人の前記第1の鼻孔から前記送達管を除去するステップとを含む、方法。

(項目27)

前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続される、項目26に記載の方法。

(項目28)

前記送達部分および前記回収部分は、前記第1の鼻孔および前記第2の鼻孔の中に同時に挿入される、項目27に記載の方法。

(項目29)

前記送達部分の前記送達管および前記回収部分の前記回収部材は、前記第1の鼻孔および前記第2の鼻孔から同時に除去される、項目27に記載の方法。

(項目30)

前記送達管は、前記送達管が前記第1の鼻孔から除去されるときに前記細長い部材を覆つてスライドする、項目29に記載の方法。

(項目31)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に固定される、項目26に記載の方法。

(項目32)

前記回収磁石は、前記回収部材の遠位部分に対して移動可能である、項目26に記載の方法。

(項目33)

前記回収部材は、回収管であり、前記回収磁石は、前記回収管の中に受け取られた第2の可撓性の細長い部材に取り付けられ、前記回収磁石は、前記回収管の外側に位置付けられ、前記回収管の前記遠位部分に対して移動可能である、項目32に記載の方法。

(項目34)

前記送達管から前記細長い部材を除去することをさらに含む、項目26に記載の方法。

(項目35)

前記送達管は、実質的にその全長に沿ってスリットを備え、前記方法は、前記スリットを通して前記送達管から前記細長い部材を除去することをさらに含む、項目34に記載の方法。

(項目36)

前記可撓性の細長い部材は、前記送達磁石として作用する磁性部分を備える、項目26に

記載の方法。

(項目37)

前記送達管は、前記送達磁石を前記個人の前記鼻咽頭に送達するための少なくとも1つの窓を有する鼻腔チューブ内に配置され、前記プライドルデバイスの前記送達部分を挿入する前記ステップは、前記個人の前記第1の鼻孔の中に前記鼻腔チューブを挿入することを含み、前記送達管を除去する前記ステップは、前記鼻腔チューブから前記送達管を除去することを含む、項目26に記載の方法。

(項目38)

前記送達管は、透明であり、前記細長い部材は、視覚インジケータを備え、前記方法は、前記送達管内の前記細長い部材の移動を監視することによって、前記送達磁石と前記回収磁石との間の接続を判定することをさらに含む、項目26に記載の方法。

(項目39)

プライドルデバイスであって、前記プライドルデバイスは、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、送達管と、前記送達管の中に受け取られた可撓性の細長い部材に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達部分の少なくとも一部分は、前記回収部分の少なくとも一部分に接続され、前記送達磁石は、前記送達管の遠位部分に対して移動可能であり、前記送達磁石の両極は、前記送達管の外側に露出させられる、送達部分とを備える、プライドルデバイス。

(項目40)

プライドルデバイスであって、

回収部材と、前記回収部材に取り付けられた回収磁石とを有する回収部分と、送達部材と、前記送達部材の遠位部分に取り付けられた送達磁石とを有する送達部分であって、前記送達磁石は、多面体として成形される、送達部分とを備える、プライドルデバイス。

(項目41)

前記送達磁石は、6面体として成形される、項目40に記載のプライドルデバイス。

(項目42)

鼻腔チューブであって、前記鼻腔チューブは、

管腔と、

第1のフランジ部分および第2のフランジ部分であって、前記第1のフランジ部分および前記第2のフランジ部分は、前記管腔の長手方向軸の周りで前記管腔を円周方向に包囲し、前記第1のフランジ部分と前記第2のフランジ部分との間にチャネルを形成する、第1のフランジ部分および第2のフランジ部分とを備える、鼻腔チューブ。

(項目43)

前記第1のフランジ部分および第2のフランジ部分のうちの少なくとも1つは、前記管腔から前記フランジ部分の外縁まで半径方向の方向に延びる開口部を備える、項目42に記載の鼻腔チューブ。

(項目44)

前記鼻腔チューブは、弾性アームをさらに備え、前記弾性アームは、前記管腔から延び、前記チャネルの中に配置されたプライドルラインの最上部を覆って巻き付けられることが可能である、項目42に記載の鼻腔チューブ。

(項目45)

前記第1のフランジ部分および第2のフランジ部分は、前記チャネルの中に配置された前記プライドルラインの最上部を覆って巻き付けられたときに前記アームの一部分を定位置に保持する1つ以上のノッチを備える、項目44に記載の鼻腔チューブ。